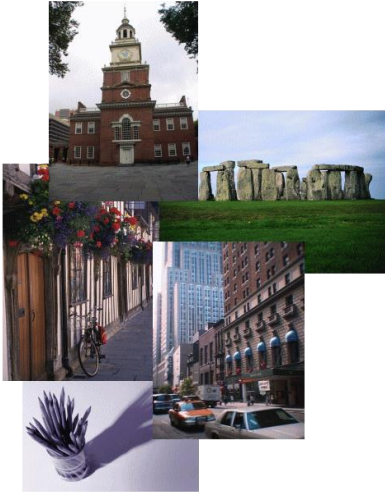


大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻 高度専門職業人コース（博士前期課程） 「英語教員リカレント・コース」



設置の背景： 中・高校における英語教員の資質向上が重要なテーマに

急速なグローバル化が進む現在、英語は、世界との情報交換や双方向コミュニケーションにきわめて重要な役割を果たしています。次代を担う子どもたちが、英語で自らの主張を明確に発信できる優れたコミュニケーション能力と専門知識を習得することは、それぞれのめざす分野で活躍するうえで大きな力となります。そのため大阪大学は、自らがたゆまぬ自己向上を図り、子どもたちに英語を学ぶ喜びを提供する教員を育成するため、言語文化研究科言語社会専攻 高度専門職業人コース（博士前期課程）に、「英語教員リカレント・コース」を設置してきました。

養成する人材像： 授業を通して生徒の人的成長を促す向上心あふれる英語教員

「英語教員リカレント・コース」では、英語学、英米文学、英米文化、英米社会などについて本格的な学問研究を展開しています。それを通じて英語を取り巻く歴史・社会・文化への理解と問題意識を深め、より一層柔軟で多元文化的な視点で教育を実践する能力を身につけていただきます。研究の成果を伝える先生の積極的な姿は、生徒にとって英語能力の向上のみならず、人的成長を促す良き刺激となるでしょう。

教育体制： 社会人にも配慮した教育環境を整備

◆長期履修制度

言語文化研究科では、博士前期課程の修業年限（2年）では大学院の教育課程の履修が困難な方を対象とした長期履修制度を導入しています。2年分の授業料で最長4年まで在籍することができ、勤務状況に応じた履修が可能となります。なお、長期履修の申請は入学手続き時に行う必要があります。

◆夜間授業

現職教員の方が履修しやすいよう、夜間の時間帯にも授業または研究指導を行います。なお平成25年度は、「広域言語実践論」、「イギリス言語文化表象論」、「イギリス言語文化資源論」、「イギリス言語社会動態論」、「英語特別演習」の五つの授業を、夜間の時間帯、6限（18:10～19:40）に開講しています。

学位： 修士(言語文化学)

博士前期課程に2年以上在学して、30単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、修士論文の審査及び試験に合格した者に修士の学位を授与します。学位には、言語文化学の専攻分野の名称が付記されます。

専修免許状の取得

以下の条件を全て満たすことにより、中学校及び高等学校の専修免許状を取得することができます。

- ①既に免許教科（英語）の中学校教諭一種免許状又は高等学校教諭一種免許状取得の要件を満たしていること。
- ②免許教科（英語）に関する科目を24単位以上修得すること。
- ③修士の学位を修得すること。

入試概要

[出願資格]

次のⅠの各号のいずれかに該当し、かつ、Ⅱの各号のいずれにも該当する者

Ⅰ（学歴等）

- ①大学を卒業した者
- ②学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- ③文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- ④本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成26年3月31日までに22歳に達するもの

Ⅱ（教育職員免許状及び職歴等）

- ①学校教諭普通免許状1種(英語)又は高等学校教諭普通免許状1種(英語)を有する者
- ②本研究科出願時に、学校の教員の職にある者で、学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する中学校又は高等学校において3年以上の英語教育経験（臨時教員を含む。）を有するもの又は平成26年3月31日までにその見込みのあるもの
- ③原則として、本研究科在学中に教育実践が出来る場を持っている者

[入試日程]

大阪大学大学院言語文化研究科 言語社会専攻（博士前期課程）夏季試験

- ◆出願期間：平成25年7月8日（月）～7月12日（金）17時まで（必着）
- ◆試験日時：平成25年8月4日（日）13:00～ ◆試験会場：箕面キャンパス
- ◆合格発表：平成25年8月12日（月）

大阪大学大学院言語文化研究科 言語社会専攻（博士前期課程）冬季試験

- ◆出願期間：平成26年1月6日（月）～1月10日（金）17時まで（必着）
- ◆試験日時：平成26年2月8日（土）13:00～ ◆試験会場：箕面キャンパス
- ◆合格発表：平成26年2月14日（金）

カリキュラム

博士前期課程では、専攻する言語の高度な運用能力を育成するため、全ての学生はいずれかの「専攻言語科目」8単位を必修としています。英語教員リカレント・コースの学生は、「専攻言語科目」として「英語特別演習A・B・C・D」を8単位、自らの専門に従って「専攻科目（広域言語論）（地域言語論）」を22単位履修します。その他にも他大学ではあまり開講されていない世界の稀少言語を集めた「関連研究言語」、社会の関心と時代の要請に応じて研究者がオムニバス形式で担当する「複合領域特論」といった科目も開設されています。

お問い合わせ

大阪大学大学院言語文化研究科・外国語学部箕面事務室 学生支援係

〒562-8558 箕面市粟生間谷東8-1-1

TEL 072-730-5069 FAX 072-730-5057

E-mail : genbun-minoh-shien@office.osaka-u.ac.jp

URL : <http://www1.lang.osaka-u.ac.jp>

[募集要項の請求方法]

郵便番号、住所、氏名を明記し、390円分の切手を貼った返信用封筒【角形2号】を同封の上、大学への送付用封筒の表に「博士前期課程募集要項請求」と朱書きし、上記まで請求してください。